

主 な 記 事

カンボジアの中共無償生糸 ……1  
 記念事業集大成について ……2  
 千曲川診断 ……4  
 会 員 近 況 ……7

# 千 曲 会 報

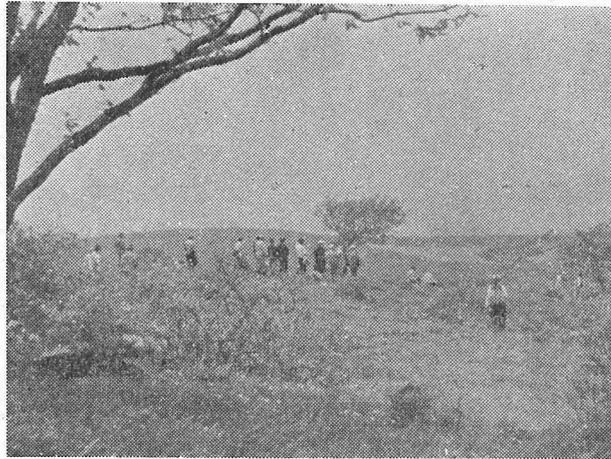
昭和34年8月1日発行  
 長野県上田市常入  
 信州大学繊維学部内  
 編集兼発行人 小山長雄  
 信州大学繊維学部内  
 発行所 社団法人 千曲会

昭和31年6月4日第3種郵便物認可 毎月1日発行 定価1部15円 振替口座 長野 6243 東京 43341

## カンボジアの中共無償生糸

蚕 2 唐 沢 正 平

カンボジアはSEATOの熱心な構成国タイと南ヴェトナムに挟まれ、更に最近北のラオスが極右に転向の兆がある間で中立を表明している。此の中立を支援する為ソヴェットは病院を、中共は工場をと無償援助すれば、米国は港湾施設を援助する等此のところ共産、自由両陣営から援助の競争を行っている状況である。中共は1957年800万ポンドを以って織物、製紙、ベニヤ板、セメントの四工場を設立援助することを決定し、昨秋十月首都プノンペン近郊に工場敷地が決定し、二ヶ年後に、その工場竣工の暁には、直に緑業を開始し得る様にその幹部要員養成の為め同国青年二三〇名が中共に派遣訓練されることとなり、11月29日出発を報ぜられていた。此の工場建設に要する人件費、雑費等の建築費を支払う為め中共はカンボジア政府に生糸を無償提供しこれを政府は1億2000万円で織屋に販売して、その代金を之れに充てている。その生糸をカンボジアの織屋は中共の無償生糸と呼んでいた。



信州蓼科高原 納屋留蔵 (信大光画クラブ)

昨年11月私がカンボジアに行った当時の生糸値段は、日本では繭糸価格安定法に基く最低糸価は19万円だが現物は1億1600万円が適正時価として取引されていた。然し当時、私の巡ったインド、アフガニスタン、パキスタン、ビルマでは国産生糸1億3200万円内外、インドでは、日本からの輸入生糸は3500万円、UPの如きは二一中、AA4300万円の取引があり。タイとラオスは2200万円、ヴェトナムでは2500万円とされていたのでカンボジアの1億2000万円は他に比し割安である。私はカンボジアではプノンペンに織屋二工場とその近郊の農家の機織状況を視察した。此の農村はマレー人部落で丁度伊勢崎附近の農家が銘仙を織る状況に似ていた。農家は高い床下に1~2台宛備え付けた木製の手織で絹織物が毎年1万8,000反織られる

と言っていた。プノンペンで視た織屋は二工場共に日本製ヤガードを備へ付けていた。一つは180台の津田駒製自動織機で他は12台の松川製作所の自動織機を備へて美事な紋織を生産していた。私はその12台の小工場の工場主に伴われて彼の町工場を訪ねた際、その30才内外の青年工場長から、中共生糸と日本生糸について、種々参考となる話を聞いた。即ち彼は、私は従来日本生糸のみを使用していたが、1957年以来中共生糸を用いている。中共生糸を使ってみると再び日本生糸を使用する気にはなれない。その理由は、

イ、日本生糸を使用した際は常に目切れがするものとされていた。然るに、中共生糸は必ず0.3~0.5%の出目がある。

ロ、日本生糸は「送り状」にはA格としてあり乍ら使用して織物にして見ると、B・C、格が混合していたと思われるキズが出来る。然るに中共生糸は、AはA、AAはAAとハッキリ製品に現われ糸格混淆の心配は絶対に無い。「これは中共のAAで織ったものだが見てくれと立

派な紋織の布地を見せてくれた。

ハ、中共生糸の俵製は取引の中間で、第三者が之に手を加へることが出来ぬ様に包装されている。即ち梱包の外表面に糸格。正味。総量及政府の検査証が押捺されて更に政府の厳重な封印を施し其儘織屋の工場に持ち込まれる。「これを見てくれとそこにあつたAA、AAAの中共の生糸の梱包を指示した」日本生糸には外表面に糸格や正味総量の表記が無いので第三者が内容に手を加へる余地があると言うのである。

ニ、又、中共は此の工場に毎年二回技術者を派遣して、生糸使用上改善を要する点等を諮ねて改善に努めてくれる。最近紹造りなども従来のもを改善して日本生糸と少しも変らぬ紹造りとなったとてその紹造りを示してくれた。

私はプノンペンの日本某商社に此の話をしてその話を聞いて

た処その人は、先年日本商社でA格生糸の競争入札をした際某商社は20セント安で落札したことがある。同じA格生糸がどうして20セント安で出来るか皆が不審に思ったことがある何かそんなことではなかろうかとのことだった。私は帰国後横浜の輸出商関係の人に尋ねたら外儀にマークが入らぬことは事実だが、生糸検査法で糸格の混合など出来ぬ筈だとのことだった。然し日本の生糸は、日本を離れば日本の生糸検査法の圏外に出るものであることを私共は銘記して、生糸は検査後には需要者の工場に入るまでは第三者が絶対に之れに手を加える余地の無い様に俵装することが需要者に日本生糸の信用を高める結果となることと信じる。又、生糸の売込みにもその生糸が織屋の製織目的に合致しているかどうかを常に注意し織屋の要求が製糸家に充分呑み込まれ理解されていることが必要である。即ち生糸の生産者と消費者との連絡が

常に血の通ったものとなることが必要である。製糸業者の技術者が常に自分の製造した生糸を消費する織屋の工場を訪問して生糸の欠陥を請ねて改善に努力する位のアンサーサービスが必要であることは言う迄もない。生糸検査所の検査さえ合格すれば万事終了と言う考えは日本生糸の需要増進の観点から速かに改めねばならぬ。最近国内に於ても織物の生産は貸織の形式でメーカーと織屋が系列化し毛織52%人絹60%スフ62%綿布は自家工場と貸織の生産が65%を占めると言われている。日本生糸の製造と消費も製糸家が織屋と直結して生糸から織物まで系列化された組織的生産で優秀な組織物を世界に供給することが必要である。私はカンボジアの小さい町工場を視察して中共の無償生糸の話が聞かされ、日本生糸の消費増進について一つのヒントを与へられた様に思った。

## 記念事業集大成について

母校50周年記念事業計画については数年来委員を挙げて立案し、32年の総会に於て計画の細目を全会一致決定し、更に昨年4月各支会より御推薦願った記念事業実行委員により第1回実行委員会を開催して、事業費の出途方法について御協議をいただき、支会別献金割当額の御承認を得て、爾来之れが達成に御尽力を賜っておる現況であります。

かくて去る7月末現在の支会別寄附申込状況は割当額135%突破の三丹、宮城両支会を最高として既に割当完遂した支会が数支会に達し、申込総額2,603,220円この延人員897名と相成っております。本会としてはこの意義深い記念事業は是

非とも4千有余の全会員の団結協力によって集大成いたしたい念願切なるものがありますので、時節御速感とは存じますが何卒御賛同下さいまして蓄って御申込いただけますようお願い申し上げます。

尚既に御諒承の事とは存じますが記念事業計画の内容並びに予算内訳は別記のとおりであります。

昭和34年8月

母校50周年記念事業実行委員長 猪坂 直一  
社団法人千曲会理事長 野口 新太郎  
会 員 各 位

### 記

#### I 記念事業種目並に経費

- (1) 財団法人上田繊維科学振興会設立費 2,500,000円
- (2) 千曲会施設充実費 600,000円
- (3) 祝賀行事費 1,000,000円
- (4) 会議費事務及び交附金等 900,000円

(註) 財団法人上田繊維科学振興会は、學術の振興と産業の発展に寄与することは目的とするもので、千曲会員及び母校教官の優秀な學術研究に対する助成或いは表彰、學術研究における産業界との協力の斡旋等を行うものであります。

#### II 募金額および募金方法

- (1) 募金目標額 5,000,000円
- (2) 個人募金基準額
  - 大正3年～昭和7年卒業生 5,000円以上
  - 昭和8年～昭和10年卒業生 4,500円以上
  - 昭和11年～昭和13年卒業生 4,000円以上
  - 昭和14年～昭和16年卒業生 3,500円以上
  - 昭和17年～昭和19年卒業生 3,000円以上

尚本申込期限は一応到来し、納入期間にはいっていますが只今陸續と御申込みがありますので、予定期限を御考慮され

- 昭和20年～昭和22年卒業生 2,500円以上
- 昭和23年～昭和25年卒業生 2,000円以上
- 昭和26年～昭和28年卒業生 1,500円以上
- 昭和29年以降の卒業生 1,000円以上

#### (3) 申込方法

氏名、学科、卒業年次、募金額、振込方法等を記入して申込まれたい。(原則として支会長を経て申込まれ度い)

#### (4) 募金取扱いについて

原則として支会長を経て申込み及び払込みを行う。支会長との連絡困難の場合は本部直接扱いとします。

尚支会長、支会事務所及び事務責任者等は千曲会9月号に登載しますので御承知下さい。

#### (5) 払込みについて

(a) 分割払 4回以内、分割単位500円以上  
一時払 払込期日を明記して下さい。

以上いずれでも可

#### (b) 払込期限

昭和34年12月まで

ることなく新たな御申込みを御待ちしています。

## 経営ブームの残した現状と マネジメントの諸問題

実践は適用させる場の理解にある

糸4学生 竜 沢 欣 宏

人間の経済生活を形成する職能として、生産、交換、分配及び消費をあげることができますが、マネジメントは、それらの職能に如何にして最大効用をもたせるかとする経営管理の一般原理であると、私は思います。昨今のわが国における経営ブームは、マネジメントの性格が、人間の経済生活の向上を促進させる主役となるべき一般原理であることを意味しているのではないのでしょうか。そこで、私はマネジメントの現状について、考察したいと思います。

(一)

マネジメントは、いまや広範囲にひろまり、単に会社、企業のみならず、他の機関にさえ浸透しはじめています。しかし、このことは、その量的な一般化であって、たゞ広がったという点に特性があるように思います。質的な変化がなされていない。事実、私はマネジメントの実践化された事例を、あまり聞いたり、読んだりしたことがありません。ごく一部の機械化された近代的な企業を除いて、マネジメントの原理は、いまだ一般的に実践の段階に至っていないといえるでしょう。

(二)

では、経営ブーム下において、管理会計的な考え方、マネジメント的考え方、つまりマネジメントの原理を多くの人々が理解し、さらには、その原理を実践化しなくてはならないと誰もが考えているにもかかわらず、現状において之れがほとんど実践化されていないのは、どこに原因があるのでしょうか。それは、マスコミ、ジャーナリズムによる経営ブームの声がマネジメントの表面感染的効果しかもっていないことによると思います。元来、マネジメントは、わが国の経済規模とは著るしい差異をもつアメリカに誕生したものです。ですから、わが国において、その原理をそのまま実践に移行させることに、困難があるのは当然です。そこに、一般的な実践化がいまだなされていない原因、(原理が理論だけにとどまっているゆえん、)があると思います。

(三)

しかし、その根本的な原因は、原理と実践との間隙にあると思います。すなわち、現在のマネジメント執行者に、原理を適用させる場の理解が不足していることにあります。マネジメント的立場に立って、企業なり、会社なりの実態が把握されていないからであります。マネジメントの実践に役立つ実態が、何等把握されていないからです。

おどろくことには、マネジメントの執行者たるべきトップの重役連は、会社の実態を、利潤の宝庫とし、損益の経済観念からのみつかんでいるという傾向がみえることです。そんな状態で、マネジメントを実践化しようとしても全く無茶です。それらの人々にゆだねられたマネジメントは、如何に実践化の努力がなされても徒勞となるでしょう。むしろ、

マネジメントの実践の成長に対して、彼等はそれをチェックする保守的な制約者になりかねません。マネジメントは、実際の如何を問わず実践されるものでなく、適用させる場の理解すなわち実際の認識があつて、はじめて実践化されるものと思います。そこで、実際の認識の仕方が問題となつてきますが、その点については、次のことだけにとどめておきたいと思っています。

(四)

経済学、経営学、あるいはその他の学問は、いろいろな見地からわが国の経済や企業を分析し、研究してくれていますが、それだけでは、マネジメントのための実際を理解するには不完全です。マネジメントは学問的、理論的なものより、現実の上に立つ原理であつてみれば当然でしょう。テラーの工場経営管理法が、彼の職工時代に発想されたと同じく、それらの方式を体系的に統一したマネジメントの原理は実際の中から生れたのです。ですから、実際の認識の仕方を云々するよりも、まず実際と直接ぶつかり合っている人、マネジメント技術者の手に、マネジメントは、ゆだねるべきだと思っています。この場合、マネジメント技術者とは、マネジメントに実際をあてはめようとするのではなく、実際の側からマネジメントを吸収しようとする人を指します。

(五)

見方を変えてみましょう。経営ブームは、大都市から遠隔地にある地方産業に、それほど影響を与えるに至っていないようです。また、産業別によつても、その影響に大きな差があります。地方産業の保守的、温情的な性格や環境、あるいは、しばしば例にみるように、ブームというものは中心地以外にはあまり根強い波紋を投じない性質があるからでしょう。一方、産業別に見ると、たとえば、物品を扱う工場や商店経営では、マネジメントの原理を比較的容易に取り入れられそうにみえますが、交通などの人間という不安定なものを扱っている純サービス業では、一見全く無用のものと考えられがちですそれが逆に、経営ブームに対する産業別の関心の度合となつていきます。つまり、経営ブームの影響の差異の意味はマネジメントの必要性に時間的なずれがあること、その実践の可能性を問題にすることとの二点に要約することができると思います。

(六)

科学の急速な進歩とマスコミの著るしく発展した現在、地方だからといって安閑としていられる時代ではありません。アメリカに生れ、戦後わが国に輸入されて十数年を経たマネジメントは、まだ少年期ですが、その原理が、具体化され、実用化され、応用化される時期は間近であると思います。地方産業にも、企業経営管理方法をマネジメントするように余儀なくされてからでは、あまりにも遅すぎる。必要にせまら

れて、あわててそれに対処するのは、生存競争に敗れることを覚悟しなければならないでしょう。たしかに、規模の小さい手工業的色彩の濃い中小企業や、人間という厄介な商品を扱うサービス業では実践に困難性があります。だからといって、それはそのままの状態、過され得るはずはありません。

(C)

なぜならば、生活の向上が人間の欲求である以上、経済生活の合理化は避けられない必然だからです。マネジメントはそのための一般原理であるとするならば、実践の可能性は問

題にならない。実践されるべきものなのです。マネジメント自体は、地方産業の特徴である停滞性、後進性の弊害を打破するための、悪を棄て、良きを取り入れる最善の経営管理方法を追求する原理であると思います。

マネジメント自体は、中小企業やサービス業などの弱少性複雑性、不安定性を健全化し、合理化する。さらによりよき健全化、合理化を求めている。そして、その実践は、マネジメントに徹したマネジメント技術者によるマネジメント的な実際の理解があつて、はじめてなされるものと思います。

## 千 曲 川 診 断

派別3卒 中 嶋 福 雄

1957年秋より千曲川診断などという奇妙な診断を行つて見ましたので千曲会報にゆかりある千曲川について少しく記して見ます。この診断に当り主治医として御指導と御教示下さいました前信大教授倉沢美徳先生、農林省水産試験所中村一雄支所長に対し深謝致します。

千曲川は長野県と埼玉県との境の甲武信岳(海拔2,483m)に水源を発し、途中多くの支流を合して新潟県内に入って信濃川となり、日本海の新潟港に注いでいる。

流程369kmの本州最長の河川である。上小地区の淡水区研究所上田支所上流1kmの地点に作られた上田市外六ヶ村堰の取入口に於ける測定値に依ると千曲川の平水量は40m<sup>3</sup>/sec、梅雨季、台風季はしばしば出水しその洪水量は3,250m<sup>3</sup>/sec.に増加し冬季の渇水季には13m<sup>3</sup>/sec.に減少する。

千曲川の水深常時1~2m、河巾50~80m、河床の大部分は河原で勾配は1/1000~1/1300程度の緩傾斜が多い、流速、急流2~3m/sec、普通流0.05~0.08m/sec、千曲川本流の水質酸度はほぼ中性である。

千曲川の魚類については釣をたのしまれる方々の御参考にと、川の釣主及び中村支所長よりおうかがい致しましたものによると25種類位といわれますが川に多く見られるものより約半数の12種類の名称を次に記して見ます。

- Tribolodon hakonensis, "UGUI"
- Zacco platypus, "OIKAWA"
- Cyprinus carpio, "KOI"
- Caraissus auratus, "FUNA"
- Plecoglossus altivelis, "AYU"
- Anguilla japonica, "UNAGI"
- Cobitis biwae, "SHIMADOJO"
- Misgurnus anguillicaudatus, "DOJO"
- Cattus pollux, "KAJIKI"
- Mobagrus reini, "AKAZA"
- Parasilurus asotus, "NAMAZU"
- Pseudogobio esocinus, "KAMATSUKA"

これらのうち千曲川に一番多いものはウイグイである。ウグイは雑食性であるがやや動物質が多く、上田附近のウグイの産卵期は4月中旬~7月中旬で当時の千曲川の水温は

11.5~22.4°Cで産卵場所は急流の瀬で水深30cm内外の川床の礫に産みつける。千曲川に於けるウグイ漁業には次の漁法があります。

- a. 梓 附 場 又は ヤ ッ ス
- b. 揚 川 又は アゲツツバ
- c. 割 川 又は カ ッ バ

これらを総称して単に附場ともよばれております。

○

千曲川に因みて作れる和歌、俳句、

- a. 信濃奈流、知具麻能河伯能、左財礼之母、伎弥之布美氏姿、多麻等比呂波卒。(万葉集) 説人不知
- b. 千曲川 はるゆく水はすみけり 消えていくかの峯の白雪 (風雅集) 順徳院
- c. 君が代は千曲の川のさざれ石の苔むす岩となりつくすまで (新説古今集) 武子内親王
- d. 水の上に降もつらは千曲川さざれや峯のゆきにおよぼむ (雪玉集) 道徳院
- e. 水底のさざれも見えず千曲川 つなひく浪の船はやくして (丙寅紀行) 鳥丸光榮
- f. ちくま川春の雪解のみかきにもまさるやいくせ五月雨の頃 (富田山奉納) 菊亭誠季
- g. 水増る千曲川は我ならず霧もふかく立渡りける 顯仲
- h. さざれ石もひろふばかりの玉とみるちくまの川の秋の夜の月 (家集) 僧契仲
- i. 蟬啼くや天にひつつく千曲川 一茶
- j. 百くまや千曲の川門霧こめぬ舟わたせをとよぶ声はして (家集) 橋千蔭
- k. 千曲川長き舟橋はるばるとむかしをかけて渡りぬるかな (誰來紀行) 黒田清嗣
- l. 千曲河原にて。共ずれにすれてまらなる石はいく世の波にゆられ来ぬらん (藤かつら) 藤真蔭
- m. 寄波の影もさやかに千曲川ちくま百くま照る月夜哉 (藤かつら) 藤真蔭
- n. 瀬をはやみ岩にせかれて千曲川ちちにくだくる浪の白玉 (藤かつら) 藤真蔭
- o. 千曲川岸のくまくま見えかくれい 鶴嶋舟のさしのぼる

らん (藤かつら) 斎藤真蔭  
 P. 波こゆる千曲川原の根しろ松みつえなびけて鳴時鳥  
 (藤かつら) 斎藤真蔭

○

有名な千曲川の石、種々あるも代表は陰陽石である。  
 千曲川の水棲昆虫

- 毛翅目
- ヒゲナガカワトビケラ的一种、シマトビケラ的一种
- ナガレトビケラ的一种、ヤマトビケラ的一种
- 蜉蝣目
- マダラカゲロウ的一种、ヤマカゲロウ的一种
- ヒメフタオカゲロウ的一种、フタオヤマカゲロウ的一种
- トビロカゲロウ的一种、タニガカゲロウ的一种
- チャカゲロウ的一种
- 双翅目
- シギアブ的一种、ユスリカ類の幼虫、カミカ的一种
- 積翅目
- カワゲラ的一种、

- 有吻目、ナベフタムシの一種
- 鞘翅目
- ドロムシの一種
- 蜻蛉目
- トンボの一種、ハリガネムシ目、ハリガネムシの一種、
- 食毛目
- イトミミズの一種

○

千曲川に横たわる上田橋

高 さ	流床より	約 6 m
長 さ		約 203m
建築鉄材		約 289t
別所温泉行鉄橋		
高 さ	流床より	約 8 m
長 さ		約 220m
建築鉄材		約 400t

以上にて私の調査見聞せる千曲川診断を終りと致します。  
 終りに千曲会同窓皆々様の御多幸をお祈り申し上げます。

## 会 員 近 況

### 第 2 回 紡 3 同 級 会 の 記

香 山 清 和

昨年 3 月 1 日 2 日 両日別所温泉花屋ホテルに於て全員出席と云う空前絶後の紡 3 同級会を開催したが、その際、もうあ



まり長く 1 同揃っている事も望まれないので、明年も引続き実施する事、小松君夫人の意見もあり老妻同伴とする事、当番幹事は宮本君とし船橋ヘルスセンターで汐干狩を兼ねて実施する事を申合せた

○

申合せによる第 2 回目の同級会開催の動きは既に昨年 11 月 23 日の千曲会総会に始めて出席した宮本君からその話が出た事から始まる。2 月 24 日には宮本君から「昨年同級会は 3 月にやったが本年は皇太子殿下の結婚式が 4 月 10 日にあるのでその翌日の 11 日から 12 日 (日曜) にかけて実施したいがどうか」との通信があり、之に対し僕から「期日は賛成、妻は病後なので同伴出来ないかも知れない」

と返事し、更に宮本君から「浜、小松、碓氷の 3 君とも妻同伴で来ると通知があった。貴兄も是非同伴頼む」との便りあり、準備着々進行、4 月に入ると同君から船橋ヘルスセンターのパンフレットと汐干狩可能時間表を同封した詳細の案内状来る。之に追駈 4 月 9 日ハガキで船橋駅から宿屋へ行く地図を書き、小松君夫婦は公務多忙で来られない事、碓氷君の夫人は来ない事を通知し来る。之れで僕は妻に同行を勧めたが仲々承諾しないので自分 1 人丈約束を違えて勝手な行動をとる事に対し申訳がないと考えた事ともう 1 つ全員妻伴の中に 1 人取残された所在なさを心配していた事が幾らか救われたような気がしたが 1 方に於て出席者が 1 人缺けて完全な同級会でなくなった点で非常な物足りなさを感じた。

○

貧乏団体を切廻している僕としては仕事に追われているので始めの予定は 11 日 (土) の午前中は勤務し昼頃の汽車で上京する心組であったが 4 月 4 日の宮本君からの通信で浜君夫婦は 2 時頃には到着するとあったので予定を早め出勤を取止め上田発 8 時 50 分の列車に乗る。上野着 3 時 30 分、国電に乗換え船橋駅下車、宮本君の書いて呉れた地図により歩き最後に判らなくなって人に尋ね 3 時半頃、旅館泉荘に至る。既に宮本君夫婦、碓氷君は到着していた。宮本君夫人には僕が帰国後昭和 28 年に宮本君を訪問した時合っているの 6 年振りと云う訳である。小松君の欠席は君の努力による綜合中学校

の竣工式があるためだと云う事で、君の町政に熱狂的である点に対し、ほとほと感心した訳である。泉荘に宿泊する事を決めたのは船橋ヘルスセンターは泊めな



いたためかと思ったが実際はそうではなくへ  
 ルスセンターでは騒々しいので態々此処に宿泊するようにしたと云う事で宮本君の深い配慮に感激した。泉荘は檜の香も高い新築された許りで他に客はなく静かに気持のよい宿屋であった。碓氷君は夫人と連絡がつかず 1 人で来た。浜君は一寸用事が出来て少し遅れるとの事であった。風呂に入って丹前に着換え色々話していると 6 時頃に浜君夫婦来る。僕と浜夫人とは奉天駅頭に於て昭和 18 年帰国する浜君 1 家を見送りして以来始めて実に 16 年目の対面であった。他の人達と夫人との面会は始めてであっただろう。これで予定の人数合計 6 人が揃ったので懇親会に入る。酒は嘗て酒豪と云われた浜君が 1 滴もやらぬし、碓氷君がなめる程度なので宮本君が第 1、この僕が 2 番目と云う訳でデュースの需要の方が多いと云う貧弱さである。去年の同級会以来、我々の境過は浜君を除いては全く変化はな

いので話は勢い浜君の状況変化が中心になる。浜君が故郷でやっていた瓦製造業木材業を廃業し郷里との一切の関係を断切って上京して特許局時代の経験を生かし今頃になって受験勉強をなし試験をパスし近日中に特許弁理士を開業する予定との事である。と云う物語りを面白く聞く。浜君が試験勉強をし受験した事につき浜君を大いに見直した訳である。そこで千曲会員諸君にお願いがある。特許、特に維織関係の仕事があったら大いに利用して欲しいと広告して置く。それで浜君に千曲会報へ広告を出す事を勧めたら快諾され、後から原稿を送付するとの事であった。それで僕の会報の悪口は云うが常に会のためを思っていることが訳って貰えると思う。浜君の身上話の外にも種々話に花が咲き就床せるは11時頃であった。浜君夫婦と宮本君夫婦とは夫々家族風呂付の特別室に泊り僕と碓氷君は普通室で野郎共2人で淋しく寝た訳である

翌日は8時半頃朝食を共にし井上、石倉、林、八木、野口、小松の諸氏に寄書の手紙を書く。別に千曲会報掲載のための寄書をする。来年も同級会を引続きやる事とし碓氷君が幹事で磯部鑑泉と云う事に決定した。

船橋ヘルスセンターは直ぐ河向うにあるが橋がないのでハイヤーを頼み遠廻りして10時頃行く。その規模の壮さに驚く。1廻りするだけにたっぷり1日かかると云う事である。宮本君の予約して呉れた部屋を通る。僕は夜上田で会合があるので昼頃此処を立たねばならないので小憩後立出でヘルスセンター前で記念撮影をなし1回と別れ京成船橋駅発11時19分の準急電車の上野に出て上野発12時15分の準急白樺号で上田へ帰った。

僕の帰った後の様子は4月14日付の宮本君よりのハガキによると2時頃まで遊んで解散したとの事である。どういふ風に遊んだか、汐千狩をやったか一切訳らない。僕の都合から途中で抜けて大いに興をそいだ事に対し申訳ないと思っている。

千曲会報に載せる同級会記事は当然当番幹事である宮本君が執筆すべきで然かも同君は却々の名文家であり、その他碓氷君も戦前千曲時報で鳴した麗筆家であり浜君も口に劣らず筆も達者であるが何れも譲合って引受けず、おだてられて人の好い僕が押付けられてしまった。そんな訳で当番幹事でない僕が書くのだから

落ちのない記事が書けなかった事を讀とせられ度い。

僕が幹事をやった昨年の会合は準備も大ざっぱで一般には2回の通信だけ、特に多い人にも4回位出した丈であった。然るに宮本君は7、8回通信され準備に細心の注意が払われた。又費用の点でも僕の場合は幹事は会費で殆んど損をしなかつたが今回の宮本君は相当負担されたように思われた。その点僕は少々ひげ目を感じた訳であるがやはり次回の幹事には会費一杯でやって欲しいと希望するものである。

第2回同級会をやる少し前に千曲会報1月号に小山清君の肝いりで11月2、3日赤城山黒槍荘で糸11回同級会が行われた事が報じられた。それがこの同級会とどう云う関係があるかと云うかも知れないが糸11回は紡3回と同年であるので、つまり糸11回は我々の真似をして同級会をやったと判断し大いに感振り度い積りで書いた訳である。然し小山君に云わせたら、そんな事には関係がない、偶然の一致であるかと云うかも知れない。それはどうでもよいが僕は大きに手本を示した積りで糸11回に向って我々のように同級会をやっては如何ですかとお勧する。糸11回は引続いて本年も同級会をやるかどうかと楽しみにして見ている。なお今回の同級会の中で三科合同の同級会をやるかどうかと云う話も出た事を記して筆をおく事とする。

(写真、向って右から浜香三君、浜君夫人鉄子さん、宮本静雄君、宮本君夫人みささん、碓氷茂君、香山清和)

小林 運美氏 (糸16)

マニラ、ニューデリーへ

本会副理事長小林運美氏は第10回世界ジャンボリーに出席のため7月8日羽田空港発マニラに向った。つづいて8月にはニューデリーの国際ボーイ、スカウト大会に出席されると野口理事長に通知があった。氏はこの道のエキスパートで毎年の海外出張で馴れたもの、田舎者が東京に行くよりも易易さで出発された。

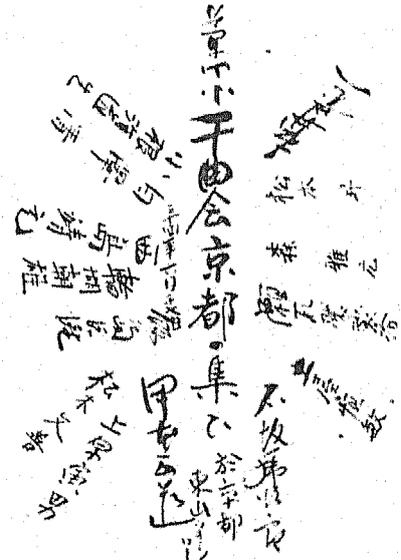
山崎光寿氏 (化9回・三菱レーヨン) アメリカへ

化9回卒山崎光寿氏(三菱レーヨン勤務)は合成繊維の技術調査のため渡米したと、次のような便りを母校の三石氏へ

送って来た。

「大変御無沙汰していますが皆様お元気ですか。今度新しい合成繊維の技術調査のためこちらへ来ています。約3ヶ月の予定で9月初め日本へ帰ります。こちらは土曜、日曜が休日なので遊ぶのには都合がよいです。この辺は非常な田舎で仲々人情味豊かで、下手な英語で毎日愉快に過しています。母の先生方、同級生によろしく」

なお宿舎は  
c/o Lyons Hotel  
Decatur, Alabama U. S. A.



千曲会京都地区の集い

6月27日千曲京都地区の第10回懇談の「フトン着て寝たる姿や……」の東山山麓、岩風呂の魚満様にて開かれました。先ず甲本前近畿支会長の近畿支会の現況に就てお話があり、その後石坂現会長の抱負や50周年行事への協力要請、千曲会費の納入懇請等のうちに宴もたけなわとなり、繊維産業の将来や懐旧談議に花が咲き、加茂川から吹き上げる夜風が肌に爽やかに感ずる頃、次回に再会を約して散会しました。

尚次回は11月28日ですから今回出席されなかった方々は都合をつけて是非参加頂きますよう紙上を借りて連絡します。(松木記)

貞明皇后記念蚕糸学術受賞会員

昭和34年6月10日大日本蚕糸会から次の会員の方々は貞明皇后記念蚕糸学術賞を受賞された。

- 蚕糸式織度感知器の研究 農林省蚕糸試験場技官 大木定雄
- 蚕卵の保護に関する研究 鐘紡蚕糸株式会社 農学博士 吉掛久雄
- 公転自転連続式索絡器の研究 農林省蚕糸試験場技官 佐藤金六



## 地方大学拡充の2.3

九州工業大学では今秋創立50周年になるので、工事費1億円を以って講堂建設学科増設、実験設備補充を行うという。すでに講堂の新築工事は着手されている。静岡大学は開学10周年を迎え、学内の整備計画を検討していたが、総額6億3000万円で鉄筋高層校舎という大拡充計画を画してている。

北海道学芸大学旭川分校は旭川大学設置の見通しが明るくなったとして、期成会に於て約2億円を見込んで計画をすすめているという。

## 山狐混々録

尾永三郎君は編集子の幼な友達で、小学校から「センモン」までをいっしょに過した。しかし彼はセンモンの2年のとき病をえ、父の死に遭遇したため中退のやむなきにいたり村で農事にはげむことになったから、卒業は私と同じわけではない。サブちゃんという愛称が三公に変わったのは中学一年のときだ。漢文に「三顧の礼」というのがあったのがきっかけだった。彼は読書欲の強い男で古今の文学書を手から放したことはなかった。こういう男はだいたい自分で詩だの歌だの小説だのを物するものである。三公もその例にもれない。ときどき彼はこんなものをかいたといつて私のところを持ってくる。いわく「山狐混々録」。山狐というのは三公をもじったものだろう。それでコンコンというわけか。

文字はあまりうまくないが、本人は他人にみせるくらいだから多少のうぬぼれがあるのだろう。母校のことを気にかけてたり、生物に興味をもったり、恋愛や美術にも関心をみせている。ミどうだい千曲会報にでももらえないかね、と水をむけると、ミ資格はどうかね、ときた色気のある証拠である。ミおれは編集委員だぜ、心配するな、マカントキミ人心を乱攪するようなものでなければいっておこうと私は決心したのである。

以下は混々録中、さしさわりの思われるものの抜萃である。文の題名は原著にはついていない。編集子がていざいよくつけたものであることをあらかじめことわっておく。(編集子)

(1) 山狐が洋品屋で怒り、のち雑貨屋で笑うこと。

甥の孫一がこんど上田のA会社につとめることになった。それで何か贈物と考へたが、なかなか思うようなものがみつからない。だいたい人に物を贈るというのはむずかしいその人の今欲しがっているもの、好みにあったものそのうえこちらのサイフの加減にピッタリとくるものでなければならぬ。贈り物が気がきいていると、その人の人柄さえしのばれてゆかしくなるものだ。現ナマや商品券というのは思の骨頂である。菓子のようなものも、就職祝としては適当でない。何かあとまでも贈り主の気持がのこるようなものが望ましい。とや思いつく、かくまどいつ、おれはまったくのブランドのまゝ町へでてみた。町をまわっていけば何かうまいものが見つかるだろうという寸法である。洋品屋の前に立つたとき、ふと孫一のネクタイがホームスパンニングの単色なものだったことを思い出したネクタイもいいな。絹の中物はどのくらいするものだろう。ちょっと入ってみる上物は1000円近い値段である。これはおれの贈物としては身分不相応である。だいいち孫一の奴が1000円にみてくれようはずがない。気ばつてみたところで、値打ちにみてくれないなら、ゲイモないことだ。500円ぐらいのでよいのはないかおれの眼に白地にしびい調子のアラビヤ模様を染めぬいた一本のネクタイがとまった。おそろおそろ近よってみると、580円と札がさがっている。少し高いが値切ればなんとかなるだろう。裏はどうなんだろう——と思つてひっくり返してみるすると20才ばかりの店員がおれのそばえよつてきた。ミネクタイをお求めですか？ミときく。あまりはつきり返事をするにギリでも買わなければ具合がわるいような状態に押しこめられるから、ミまあネミいとあいまいに答えてクダシのネクタイをじつとみつめた。よい柄合だ。孫一の奴こんな立派なネクタイをつけたら、入社そうそうミあの人好みがよくわね、なんて、女の子の話題にのるんじやないかな——おれはつまらぬ想像する。そのときだ、店員の野郎がこういひやが

った。

ミこのネクタイがお気にめしたんですかお客さんはスタイルがよくからきつとお似合いでしょ。しかししいていえばハデじゃないでしょうか？

スタイルがよくも、しいていけばもへちまもあるものか。おれにはハデにきまつていらあ。いくらことばをいねいに客の気持をそらさないようつとめたところで、おれの気分は直らねえ。客の応接というものはむずかしいものだ、気をつけな——おれはそういつてやろうと思つたが、そのときはもう10mも店から離れていたの、もどる元氣もうせていた。

それからK書店に立寄つて幸田文の黒表紙を一冊買った。ふと書店のとなりの雑貨屋の店先をみるとハンガーに七ツ鋼具のついているナイフがさがつていた。

ミうん、あれはけつこうな贈り物になるぞ。ミ私は店に近づいた。ピッタリ500円のが見つかった。

ミこれにしよう。

ハラはきまつた。

ミナイフをください。

奥の方え声をかけると、

ミハイ、ハイ、たゞいま。

といつてできた主人は右手のケースのなかの物をだしている。なんだ財布じやないか。

ミナイフですよ。

さっきの気分がまだおさまらない調子でおれはいつた。

ミあつ、ナイフですか、どうも失礼しました。わしやサイフと聞きちがえましたナ。えー、なんだこの耳、この耳がいけねえだ。きよう店がしまつたら、さつそく耳鼻へいつてみてもらいやすから、ごかんべんください。

おれは思わず吹きだしてしまつた。おもしろい。こうゆうセンスが商人一いや商人といわずだれにでも必要なんじやないかな。

おれは孫一にこれをやる時、その話も贈物としてつけ加えようと思つたことだ  
(一之瀬)

## 広瀬幸男氏(派31)沖繩視察へ

広瀬幸男氏は7月22日羽田空港発にて沖繩視察の途に立つた。なお現地で活躍中の緑間武氏(糸36)が案内役をされる由。

信大繊維学部繊維化学科 <b>北 条 舒 正</b> 上田市麴匠町	信大繊維学部紡織学科 <b>美 齊 津 利 正</b> 小諸市八満 429	信大繊維学部教養学科 <b>八 木 誠 政</b> 上田市新参町	信大繊維学部製糸学科 <b>柳 沢 延 房</b> 上田市常入信大官舎
信大繊維学部付属農場 <b>町 田 博</b> 上田市下川原柳町	信大繊維学部付属農場 <b>宮 原 大 正 治</b> 上田市上川原柳町	信大繊維学部養蚕学科 <b>山 口 定 次 郎</b> 上田市木町	信大繊維学部付属農場 <b>柳 沢 幸 男</b> 上田市中村
信大繊維学部養蚕学科 <b>松 尾 卓 見</b> 小県郡東部町大字和	上田市議員 <b>母 袋 忠 右 工 門</b> 上田市大字下塩尻 TEL 1912	信大繊維学部教養学科 <b>山 崎 嘗 録</b> 上田市常入信大官舎	信大繊維学部製糸学科 <b>吉 井 精 一</b> 小県郡和田村
信大繊維学部紡織学科 <b>三 浦 乾 太 郎</b> 上田市材木町57	信大繊維学部養蚕学科 <b>矢 木 博</b> 上田市材木町	信大繊維学部教養学科 <b>山 崎 嘗 録</b> 上田市常入信大官舎	和田龍酒造本舗 <b>和 田 晋</b> 上田市鎌原 1995 TEL 461

会 員 動 静

頁	氏 名	回 卒	新 住 所
76	樋 口 榮 四 郎	学化 4	通産省特許庁審査第3部繊維課 (千代田区3年町)
119	丸 尾 金 吾	化 5	別所中学校 (小県郡)
219	大 滝 忠 長	学紡 6	郡是本工場 (京都府綾部市青野町)
23-187	加 藤 隆 正	紡 21	郡是宮津工場 (愛知県宮津市惣)
219-186	植 田 実	紡 17	郡是江南工場 (愛知県江南市村久野)
219-225	倉 元 隆 太	蚕 20	郡是久世工場 (岡山県)
211-221	望 月 英 明	紡 23	大和紡舞鶴工場 (京都府舞鶴市京田)
189-220	小 中 潔	蚕 10	兵庫県国府町
185	池 田 和 芳	学蚕 4	愛知県蚕業試験場
159-177	西 原 淳 一	蚕 17	上小地方事務所農地課 (上田市)
151-143	池 田 俊 郎	蚕 21	埴科地方事務所蚕糸課 (埴科郡)
161-111	中 村 馨	蚕 16	上小地方事務所蚕糸課 (上田市)
145-149	浜 村 一 彦	蚕 19	上高井地方事務所蚕糸課 (上高井郡)
118-162	北 条 五 郎 左 工 門	蚕 17	松筑地方事務所蚕糸課 (松本市)
176	旧横沢 中 島 功	蚕別 3	山吹農業協同組合 (下伊那郡川路村)
193	林 文 彦	紡 25	名古屋市中区伝馬町5の2丸本商事KK (住) 中区袋町2の3
26	飯 塚 安 治	蚕 17	秋田県陽江市東松沢120
115-53	小 林 さ と	教 3	埼玉県熊谷市青物町120
192	中 川 正	紡 15	愛知県津島市柳原町愛知県海部事務所民生課 (住) 名古屋市南区南外堀町6の4の2
24-30	細 川 護	蚕 8	仙台市志波町1
146-84	林 茂	糸 36	山梨県北巨摩郡長坂町白野春駅公舎
174-89	新 村 五 郎	糸 21	神奈川相模原市薄野119
89	小 川 正 夫	蚕専修	(住) 宇都宮市岡本療養所
30	松 崎 昇 平	糸 20	宮城県岩出山町片倉工業岩出山工場長
49	三 井 滋	糸33前	新田蚕糸太田工場 (群馬県)
41	岩 井 実 治	紡 23	群馬県養連 (前橋市南曲輪町) (住) 前橋市清王寺県営アパート
48	桑 原 宣 治	蚕 36	首藤製KK 前橋出張所 (前橋小柳町)

26	若井弘	糸	12	岩手県養蚕連(盛岡市呉服町)
25	和田敦	蚕	18	岩手県農蚕課(盛岡市)住加賀野県営アパート
174-154	鷹野貞雄	蚕	20	長野吉田高等学校 住長野市七瀬居町
148-39	佐藤秀夫	蚕	30	昭栄製糸小山工場(栃木県小山市稲葉1 C01)
195-204	松木文善	学化	3	浜口染工株式会社
31-39	門田秀太郎	蚕	10	栃木県小山市稲葉郷小山蚕業株式会社
223	菅野喜通	糸	20	島根県庁蚕糸課(松江雑賀町)
202-223	磯部英一	糸	17	日本レーヨン江津工場(江津市)
20-223	宮沢久雄	蚕	37	東洋紡松江出張所(松江市)
224	島田信子	教	9	日本レーヨン江津工場(江津市)
93	荻野上風	蚕	9	死 亡
38	猪瀬親二	蚕	2	(住) 栃木県上三川町上三川
79	宮崎和男	化	8	協和水道衛生工事企業組合朝霞地区事業所 キャンプドレーク島ボイラープラント
172-169	宮沢英雄	蚕	38	南信社諏崎出張所(山梨県諏崎市本町一)
155	中沢一	学糸	5	長水教育事務所(長野市県町)
28-49	中里見友三郎	学蚕	1	群馬室田工場(群馬郡榛名町下室田450)
176	羽生英尚	糸	30	天龍社市田工場(下伊那郡高森町478)
158	横田三喜雄	糸	31	死 亡
41	上魚之有	糸	23	日本電建株式会社前橋支社(前橋市本町91)
210	宮西憲二	紡	7	大阪府箕面市百葉荘2の105
99-212	前田亀雄	蚕	7	和歌山県那賀郡粉河町馬宿804
238	武田恒夫	蚕	25	死 亡
50	榎田武	糸	37	東和株式会社神戸出張所(生田区北長狭通)
117-143	中野国雄	糸	36	須坂市中町218縮率支店内
64-168	小口英一	糸	12	岡谷市下浜 電2853番
26-60	有賀彰夫	蚕	20	片倉工業蚕種課(東京都中央区京橋3ノ2片倉ビル)
225	金田トミ子	教	7	岡山県勝田郡北町日本原
25	石塚亮	蚕	21	岩手県蚕業取締所(盛岡市内丸県庁)
〃	橋本久之助	蚕別	2	岩手蚕種製造所(岩手県日詰町)

## 母校だより

◎6月6, 7の両日にわたり京都工芸繊維大学で行われた繊維学部所属3大学体育大会の成績はつぎの通りである。

柔道 団体戦 1位上田 2位京都  
3位東京 個人戦 1位平波(上田) 2位村井(上田) 3位小林(上田)

硬式野球 1位上田・2位東京・3位京都。

軟式庭球 1位上田・2位京都・3位東京。

なお信大はバスケット、バドミントン弓道等において2位を占めた。

○7月4日(土)午後1時から母校講堂で「安保条約改定について」と題して信濃毎日新聞社副主幹真鍋信喜氏の講演会が母校職員組合と学生会との共同主催で開催され盛会であった。

○7月5日(日)文理学部で行われた学

部対抗水泳大会にも次の通り優秀な成績を示した。

総合成績1位繊維学部  
2位文理学部・3位医学部、自由型平背泳、バタフライ、メドレーとも1位  
2位の大部分は繊維学部で占めた。

元信州大学長高橋純一殿御逝去  
御病氣中のところ7月9日御永眠さる、御自宅並びに御令室の御名前は下記のとおりです。  
東京都杉並区堀の内1の55  
高橋 ルンヤ 殿

## 本会日誌

○6月8日名簿編集委員会開催、8月印刷所に原稿を廻送出来るよう取纏めることに決定。

○6月10日会報編集委員会開催。7月号編集について、原稿蒐集方法について打

ち合せ。

○6月19日学内理事会開催。東京連絡事務所開設について協議。

○6月19日上小支会岩下龍哉氏来館。記念事業募金申込と募金納入をされた。

○6月24日上小支会和田晋支会長来館。  
○6月24日勝又藤夫氏7月中旬ベトナム出発をまえに来学部、来館懇談さる。

○6月27日母校振興委員会開催。学科増設と科名変更について学部案に賛成。之が実現するよう当局に働きかけを要望した。

○6月30日山陽支会赤尾文顯氏(広島県物産幹旋東京出張所長)来館。

○6月30日栃木支会岩下嘉光氏来館50周年記念事業募金納入さる。

○7月4日上小支会清水流氏来館。

○7月6日神奈川支会遠藤正士氏来館。

○7月7日群馬支会宮田鉄五郎氏(富源産業株式会社々長)来館何十年振りに見る学内を一巡され、本会役員と懇談された。

信州大学科学教育研究室入室状況

高等学校・中学校・小学校教員の再教育と科学教育研究心昂揚のために開設される研究室は第一期が5月1日から始められ、その状況は次の通りである。なお第二期は8月1日から始められる。

Table with 4 columns: 氏名 (Name), 勤務学校 (Employing School), 研究学科目および指導員氏名 (Research Subject and Supervisor Name), and 金額 (Amount). Lists various researchers and their affiliations.

Table with 2 columns: 金額 (Amount) and 氏名 (Name). Lists monetary amounts and names of individuals associated with the research.

蒲生俊興先生退官記念代

自6月6日 至7月5日

金500円 水野健吉 糸3 川上保人 学化1

倉沢美德先生退官記念品代

自6月6日 至7月5日

金500円 水野健吉 糸3 川上保人 学化1

50周年記念事業費申込

- 1 東京支会
5,000円 三谷 勝 (糸15) 尾藤省三 (蚕10) 竹内孝三 (蚕14)
4,000円 佐藤金六 (糸5) 大木定雄 (糸19)
2,500円 市原政治 (蚕25)
2,000円 武井仙太郎 (蚕24)
1,500円 島崎昭典 (糸35) 堀内 彬明 (蚕33) 横沢三夫 (紡7)

- 1,000円 東正夫 (蚕28) 横沢一二(化5) 宮下忠禧 (織農1) 佐藤暢 (織農2) 関武吉 (織農2) 金井利夫 (織農1) 戸谷和夫 (蚕34) 水出通男 (糸37) 笠井忠光 (学糸2) 上原純之丞 (糸別2) 久保田重長 (学蚕5) 直井利雄 (学蚕6) 関島稔 (学糸6)
500円 加々井悦明 (学蚕7) 外山善臣 (化5) 松村初太郎 (蚕蚕) 小松計一 (化6)
2 群馬支会
5,000円 富田鉄五郎 (糸2)
3 南佐久支会
5,000円 野沢司馬作 (蚕13) 阿部丈夫 (蚕15)
4,500円 大山融 (蚕22)
3,000円 清水岩雄 (化2) 浅田勝夫 (蚕31) 伴野徳人 (糸17) 木内茂雄 (蚕16) 前島正直 (蚕21) 木内庸一 (蚕26) 渡辺義人 (蚕31)
2,000円 櫻山幹男 (糸35) 工藤栄次 (蚕27) 内藤久男 (糸34) 山岸政治 (蚕22) 土屋次男 (蚕37)
1,500円 木内吉弘 (農織5)
1,000円 大井武俊 (学蚕1)
4 上小支会
10,000円 和田晋 (糸12)
5,000円 岩下龍哉 (蚕18)
4,000円 中島角太郎 (蚕14)
3,000円 手塚逸郎 (蚕28)
5 安筑支会
4,500円 山崎勝己 (蚕20)
3,000円 田辺肇 (蚕22) 塚田信二 (蚕25)
2,000円 田中和人 (糸26) 岡村埴 (織農4)
1,000円 栗市秀一郎 (学蚕2)
6 北信支会
5,000円 小平耕平 (蚕19)
7 愛知支会
10,000円 坂本政雄 (紡7)
4,000円 内藤康三 (蚕25) 宮沢矩雄 (紡21)
3,000円 細田親二 (糸15)
2,000円 山田渡 (織農3) 竹内元良 (紡28)
1,000円 小野沢信義 (学化6) 天野昭二 (学化4)
500円 鈴木許子 (教婦5)
8 三重支会
3,500円 青木実造 (紡21)
3,000円 (紡23) 高橋早 (紡23)
2,500円 大塚直人 (紡26)
2,000円 西沢善徳 (紡27)

- |                            |                    |                                     |
|----------------------------|--------------------|-------------------------------------|
| 1,000円 山際明(学紡2)            | 1,000円 風間長生(学紡5)   | 20,000円 宮崎清治(蚕8)                    |
| 9 山陽支会                     | 17 安筑支会            | 5,000円 内川勇(蚕13) 工藤見吉(蚕17) 河淵益美(蚕18) |
| 5,000円 浅治製襪男(紡13)          | 4,000円 永井千治(紡17)   | 2,000円 高村達奥(化8) 中平修(化2)             |
| 3,500円 渡辺健二(糸28) 中屋正仁(糸26) | 3,500円 岡亭四郎(紡11)   | 2) 渡辺博(住2) 竹森克己(住1)                 |
| 3,000円 堀内武(化8)             | 2,000円 若林裕(紡21)    | 小 計 287,500円                        |
| 2,000円 藤沢豊(蚕27)            | 1,500円 荻原理安(化6)    | 累 計 2,181,250円                      |
| 1,000円 堀内徹(学化7)            | 1,000円 山浦源太郎(化5)   |                                     |
| 10 更殖支会                    | 竹内次志(学紡3) 吉田夏子(教7) |                                     |
| 2,500円 小出倫平(紡26)           | 原田恒春(蚕3)           |                                     |
| 11 鹿児島支会                   | 18 愛媛支会            |                                     |
| 5,000円 安田辰己(糸17)           |                    |                                     |
| 3,000円 岩切作次(糸22)           |                    |                                     |
| 2,000円 牧宮寿雄(糸32) 日高篤(糸34)  |                    |                                     |
| 12 茨城支会                    |                    |                                     |
| 5,000円 竹内博雄(蚕19)           |                    |                                     |
| 13 兵庫支会                    |                    |                                     |
| 1,000円 非元暁(農1)             |                    |                                     |
| 14 埼玉支会                    |                    |                                     |
| 2,000円 山岸茂夫(糸36)           |                    |                                     |
| 15 福島支会                    |                    |                                     |
| 5,000円 是石春男(糸14)           |                    |                                     |
| 1,000円 高橋重保(蚕別5)           |                    |                                     |
| 16 愛知支会                    |                    |                                     |

会費を御納入下さい

払込用紙は前号会報で御送りしてありますので御利用下さい。

**暑中御伺い申し上げます**

月長へお立寄の節はどうぞ汗をお流しにおなじみの当館へお出掛け下さい。  
信州夏山の御歸りの一泊も亦おたのしみと存じます。

千曲会指定旅館

別所温泉	戸倉温泉	高津屋旅館
和泉屋旅館	電話 戸倉一七番	
電話別所 一〇三番		

**株式 養賢堂発行書**

東大教授 有賀久雄著 増益	愛媛大教授 石原保著 防除	信州大教授 八木誠政著 四博士共著	信州大教授 田口亮平
<b>養蚕の実際</b>	<b>農業昆虫学</b>	<b>生態学概論</b>	<b>作物生理学</b> (栽培原理)
A5判紙装 百二十円	A5判上製 六百八十円	A5判上製 三百五十円	A5判上製 八百五十円
千〇八円	千七四四円	千五〇二円	千八〇四円

▼右の他に農林・理工関係書多数あり詳細目録送呈▲

発行所 東京文京区森川町・振替東京25500

暑中御伺い申し上げます

編集部員一同

特許・実用新案 意匠・商標 出願・審判・訴訟代理

**浜特許事務所**

弁理士 浜 香 三

事務所 東京都千代田区麹町三丁目一番地 大野晋特許事務所内 電話(三〇)一四四四番

自宅 むさしの市緑町 公団住宅七〇三〇二

◀= 編集後記 =▶

学外実習生を御世話願っております。よろしく御願いたします。

編集理事 田口 亮平	白井 美明
編集顧問 小山 長雄	藤原 昭賢
編集委員 降旗 一之瀬	矢野 沢清
	丸井 義範